

“社会に触れる学び”とこれからの高等教育 —ハンズオン・ラーニングの現在地—



キャンパスを出て
社会に学ぶ



近年、日本の大学では、大学組織の改編やカリキュラム改訂など、教育プログラムの抜本的な見直しが進んでいます。その目的の根本には、日本における今後の教育全般のあり方を主導する取り組み(プログラム)が据えられていなければなりません。

本学では、ハンズオン・ラーニングプログラムを新しい教育プログラムの中核の一つに位置づけています。ハンズオン・ラーニングとは、文字通り、“触れる”ことをキーワードにした学びのスタイルを大切にする教育プログラムであり、アクティブラーニングやプロジェクト型学習(PBL)、サービスラーニングと近接する意味合いや実践を含んでいます。

本シンポジウムでは、ハンズオン・ラーニングとは何か、アメリカにおけるハンズオン・ラーニングの位置づけはどのようになっているのか、学生や教員のみならず、本プログラムに関わる者は、どのような関係を築くことができるのか、といった課題を明らかにします。

日時

2019年5月11日(土)13:00~17:10 (12:30開場)

会場

関西学院会館 レセプションホール
(兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155)

プログラム

<第1部>

ハンズオン・ラーニングとは何か? ~アメリカからのメッセージ~

唐川 靖弘

米国コーネル大学 ジョンソン経営大学院 マネージングディレクター

木本 浩一

関西学院大学 ハンズオン・ラーニングセンター教授

<第2部>

関学ハンズオン・ラーニングがめざしているもの

~企業・地域・卒業生の視点から~ (事例紹介)

企業連携事例

ワイジェイFX株式会社(ヤフーグループ)

地域連携事例

朝来市商工会、NPO法人JAE

卒業生連携事例

2013年 理工学研究科 化学専攻修了(沢井製薬株式会社 勤務)

2015年 経済学部卒業(株式会社リクルートコミュニケーションズ 勤務)

2017年 司法研究科修了(神戸合同法律事務所 勤務)

講師紹介

唐川 靖弘

米国コーネル大学 ジョンソン経営大学院
マネージングディレクター

1975年広島県生まれ。外資系コンサルタント、広告代理店戦略プランニングディレクターを経て、2012年から米国コーネル大学ジョンソン経営大学院 Center for Sustainable Global Enterprise マネージングディレクターとして、多国籍企業による新市場開拓プロジェクトをリード。



コーディネーター

木本 浩一

関西学院大学 ハンズオン・ラーニングセンター 教授

奥貫 麻紀

同 准教授

勝又 あずさ

同 准教授

森 隆史

同 講師 兼 学校法人関西学院 法人部専任参事
(ブランディング戦略に関する業務担当)

定員

200名

◎参加費：無料

◎対象：当センターの取り組みに興味関心のある方
(大学・高等学校関係者／企業・団体の方)

◎先着順(定員に達し次第、受付を終了します)

申込方法

こちらのURLもしくはQRコードからお申し込みください

<https://goo.gl/forms/xSd58dMvEyDP3C513>



会場へのアクセス

公共交通機関を利用した場合

<阪急・甲東園駅から会場への経路>



<阪急・仁川駅から会場への経路>



問い合わせ先

関西学院大学 ハンズオン・ラーニングセンター

TEL: 0798-54-7479

Mail: hands-on@kwansei.ac.jp

(平日 8:50~16:50)

次のようなワードに興味・関心のある方は、ぜひお越しください！

アクティブラーニング

サービスラーニング

経験学習

PBL

課題解決型プログラム

インターンシップ

キャリア教育

地域連携

企業連携

卒業生連携